困ったときは

DVD/CDライティングドライブユーザーズマニュアル
とあせてお読みください(こちらをクリックすると表示されます)。

注意

最新の情報は、弊社ホームページ(buffalo.jp)を参照してください。ホームページには最新のQ＆Aや仕様などの情報が案内されています。
また、本書やホームページの情報を見ても改善しない場合は、サポートセンターにお問合せください。

●添付ソフトウェアについてのお問合せ

添付されている各ソフトウェアのお問い合わせについては、別紙「付属ソフトについて」を参照してください。

●ドライブについてのお問合せ

株式会社バッファロー　サポートセンター
電話番号、FAX番号については別紙「はじめにお読みください」を参照してください。

メモ

製品を修理したいときは、別紙「はじめにお読みください」の「修理について」をお読みください。

一般的なトラブル

パソコンが起動しない

フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクが入っている

フロッピーディスクを取り出して、パソコンを再起動してください。

本製品でOSを再セットアップできない

本製品は、OSの再セットアップには使用できません。再セットアップを行うときは、パソコン標準のCD-ROMドライブなどを使用してください。

本製品が認識されない

本製品が正しく接続されていない

USB/IEEE1394ケーブル、電源ケーブルが正しく接続されているか確認してください。

ドライバが正しくインストールされていない

簡単セットアップでドライバをインストールし直してください。【別紙「はじめにお読みください」】

USB/IEEE1394接続のCD/DVDドライブが2台以上接続されている

1台のパソコンに、USB/IEEE1394接続のCD/DVDドライブを2台以上接続して同時に使用することはできません。1台で使用してください。

特定のソフトウェアで本製品が使用できない

・パソコンに標準搭載されているドライブ専用に作られたソフトウェア(※)上で、本製品を使用できないことがあります。その場合はパソコンに標準搭載されているドライブを使用するか、他のソフトウェアを使用してください。
※ソフトウェアの仕様はソフトウェアメーカ(プリインストールソフトではパソコンメーカの場合があります)にご確認ください。

・再生ソフトウェアによっては、本製品のドライブ名が内蔵のCD・DVDドライブよりも前に割り当てられていると再生できないことがあります。そのようなときはデバイスマネージャからドライブのプロパティを開き、ドライブ名を変更してください。
(例)○:Eドライブ(内蔵CD・DVDドライブ)/Fドライブ(本製品)
×:Eドライブ(本製品)/Fドライブ(内蔵CD・DVDドライブ)

UHB-S4(弊社製USBハブ)を使用すると本製品が認識できない

USBコントローラに「Intel 82801BA/BAM USB Universal Host Controller または Intel 82801BA/BAM UHCI」を使用しているパソコン(※)では、本製品をUHB-S4に接続しないでください。本製品が認識されない、または正常に動作しないことがあります。このようなときは、本製品をパソコン本体のUSBコネクタに直接取り付けてください。

※USBコントローラの確認方法

WindowsXP	[スタート]をクリック→[マイコンピュータ]を右クリック→[管理(G)]をクリック→[デバイス マネージャ]をクリック →[USB(Universal Serial Bus)コントローラ]をダブルクリック→表示された文字列がUSBコントローラです。
WindowsMe/98SE/98	[マイコンピュータ]アイコンを右クリック→[プロパティ(R)]をクリック→[デバイス マネージャ]タブをクリック →[ユニバーサル シリアル バス コントローラ]をダブルクリック→表示された文字列がUSBコントローラです。
Windows2000	[マイコンピュータ]アイコンを右クリック→[管理(G)]をクリック→[デバイス マネージャ]をクリック →[USB(Universal Serial Bus)コントローラ]をダブルクリック→表示された文字列がUSBコントローラです。

IEEE1394接続した場合に、Windowsのスタンバイ状態から復帰した後、ライティングソフトウェアで本製品を認識できない

パケットライティングソフトをインストールした環境で本製品以外のIEEE1394機器を接続している

次のいずれかの操作を行って回避してください。

・IEEE1394機器を2台以上、パケットライティングソフトを使いたい場合　→Windowsのスタンバイモードは使用しないでください。
・Windowsのスタンバイモード、パケットライティングソフトを使いたい場合　→本製品以外のIEEE1394機器を取り外してください。
・Windowsのスタンバイモード、IEEE1394機器を2台以上使いたい場合
→パケットライティングソフトをアンインストールしてください。
【パケットライティングソフトの電子マニュアルまたはヘルプ参照】

イジェクトボタンを押してもトレーが排出されない

本製品のイジェクトボタンを押してもトレーが排出されないことがあります。その場合は、画面上でCD-ROM(WindowsXPの場合はDVD-Rドライブ)のアイコンを右クリックし、[取り出し]を選択してください。

本製品の電源が入っていない

本製品の電源がONになっているか、電源ケーブルはACコンセントに正しく接続されているか確認してください。
AUTO電源切替スイッチが「AUTO」になっているときは、パソコンの電源もONになっている必要があります。

トレーに何か引っかかっている

トレーを確認してください。

パケットライティングソフトでフォーマットしたメディアを使用している

パケットライティングソフトでフォーマットしたメディアをセットした場合、本製品のイジェクトボタンを押しても、トレーが排出されません。
画面上でCD-ROM(WindowsXPの場合はDVD-Rドライブ)のアイコンを右クリックし、[取り出し]を選択してください。

メディアが入らない

メディアがトレーに正しくセットされていない

メディアを正しくセットし直してください。

ドライブに電源ケーブルが接続されていない

電源ケーブルを接続してください。

メディアが使用できない

メディアが対応していない

別紙「はじめにお読みください」に記載の書き込み動作確認メディアを参照ください。記載にないメディアの場合、書き込みができない(または書き込んでも読み出すことができない)ことあります。このようなときは、書き込み速度を下げて書き込みをおこなってください。

パソコンがスタンバイ状態から復帰できない

本製品はパソコンのサスペンドモード(省電力モード)には対応していません。サスペンドモードは使用しないでください。

本製品のAUTO電源機能が働かない

AUTO電源切替スイッチの設定が「MANUAL」になっている

別紙「はじめにお読みください」を参照して、AUTO電源切替スイッチの設定を「AUTO」にしてください。

パソコンが対応していない

お使いのパソコンによっては、AUTO電源切替スイッチを「AUTO」にしていても、本製品の電源がON/OFFにならないことがあります。このようなときは、AUTO電源切替スイッチを「MANUAL」にして、本製品の電源スイッチを操作してON/OFF切り替えてください。

パケットライティングソフトをインストールしたら内蔵CD-ROMドライブが使えなくなった

次のパソコンでは、パケットライティングソフトのドライバが競合し、内蔵CD-ROMドライブが使用できないことがあります。

・パソコンを起動しなくてもCD-ROMドライブでCDの再生などができる機種

この場合、内蔵CD-ROMドライブとパケットライティングソフトを同時に使うことはできません。内蔵CD-ROMドライブを使うときは、パケットライティングソフトを終了してください。

IEEE1394接続した場合に、本製品以降に接続したIEEE1394機器が使用できない

本製品の電源スイッチがONになっていない

本製品の電源スイッチがONになっていないと、本製品以降に接続しているIEEE1394機器は使用できません。電源ケーブルをコンセントに接続し、電源スイッチをONにしてください。

読み出し時のトラブル

読み出し時にエラーが発生する

メディアが汚れている、または破損している

メディアの記録面に傷や汚れが付いていると、正しく読み出せません。ほこりなどが付着しているときは市販のダストクリーナーなどで除去してください。

メディアが裏返しになっている

メディアを取り出し、メディアのレーベル面を上に向けてトレーに載せてください。

メディアが読み出せない

ドライブが対応していない

ドライブによって読み出しのできるメディアは異なります。メディアを読み出すときは、お使いのドライブが、読み出したいメディアに対応しているか確認してください。

セッションが読み出せない

書き込み時に最後のセッションを読み込まないように設定している

ライティングソフトウェアで書き込む際に、最後のセッションを読み込まないように設定していると、新しく書き込んだセッションだけが読み出せるようになります。最後に書き込んだセッションも読み出したいときは、最後のセッションを参照するように設定して書き込んでください。

WindowsNT3.51やWindows3.1/DOSでファイル名が化ける

ロングファイル名を使用したデータを書き込んだ

WindowsNT3.51やWindows3.1/DOSはロングファイル名に対応していないため、RomeoやJolietで書き込まれたデータはファイル名が化けることがあります。WindowsNT3.51やWindows3.1/DOSでCDを読み出すときは、DOS名(8＋3形式)で書き込んでください。

読み出し時に異音がする

メディアにシールが貼られている

メディアにシールなどを貼っていると、メディアの重心が偏り、回転時に振動が発生することがあります。絶対にシールなどを貼らないでください。

パケットライト方式で書き込んだメディアが読み出せない

パケットライティングソフトをインストールしていないパソコンを使用している

パケットライティングソフト(またはリードドライバ)をインストールしてください。

ドライブがパケットライト方式に対応していない

ドライブによっては、パケットライト方式に対応していないことがあります。対応したドライブで読み出してください。

読み出しを行うパソコンにパケットライティングソフトのリードドライバがインストールされていない

読み出すパソコンにもパケットライティングソフトのリードドライバをインストールしていない読み出せません。パケットライティングソフトのドライバをインストールしてください。

本製品以外のドライブで読み出している

2層のDVD-Rメディアおよび2層のDVD+Rメディアにパケットライト方式で書き込みを行うと、本製品以外のドライブでは読み出せません。パケットライト方式で書き込んだ2層のDVDメディアは、本製品で読み出してください。

音楽CDを再生しても音声が出力されない、音楽CDを再生するとシステムが停止する

メディアがトレーに正しくセットされていない

イジェクトボタンを押してトレーを排出し、メディアを正しくセットし直してください。

メディアに傷、汚れ、変形がある

メディアに不良がある場合、正常に音声が出力されません。

デジタル再生に対応したソフトウェアプレーヤーで再生していない

音楽CDはデジタル再生に対応したソフトウェアプレーヤーで再生してください。デジタル再生に対応していないソフトで再生した場合、音声が聴こえません。その場合は、内蔵CD/DVDドライブで再生してください。

Windowsの設定が適切でない

本製品で音楽CDを聴くには、デジタル再生ができるように設定する必要があります。
詳しくはWindowsのヘルプを参照してください。

マルチボーダー(マルチセッション)DVDで、2番目以降のボーダーが読み出せない

データが4GB以上のDVDを読み出している

Windows2000およびWindowsXPでは、マルチボーダー(マルチセッション)で作成されたDVDのデータのサイズが4GBを超えると、ボーダーの組み合わせにかかわらず、最初のボーダーしか読み出せません。

詳しくは 、以下のマイクロソフト社ホームページの案内をご参照ください(2005年1月現在)。

http://support.microsoft.com/default.aspx?scid=kb;ja;JP329112

2層のDVD-Rメディアや2層のDVD+Rメディアに書き込んだデータを読み出している

2層のDVD-Rメディアおよび2層のDVD+Rメディアに追記(マルチボーダー/マルチセッション)で書き込みを行った場合、本製品以外のドライブでは最初のデータしか読み出すことができません。2番目以降のデータを読み出したいときは、本製品で読み出してください。

追記したDVD-R、DVD+Rメディアが読み出せない

ドライブが対応していない(本製品以外のドライブを使用している場合)

ドライブによっては、DVD-R、DVD+Rの追記メディアに対応していないことがあります。
その場合、一番最初に書き込んだデータしか読み出せないことがあります。

OSが対応していない

DVD-R、DVD+Rの追記メディアに対応したOSは、WindowsXPおよびWindows2000(Service Pack3以降)です。
それ以外のOSは、追記メディアの読み出しに対応していません。

書き込み時のトラブル

メディアに追記できない

ライティングソフトウェアが違っている

ソフトウェアの仕様により、前回書き込みをしたライティングソフトウェアを使用しないと、追記できません。前回使用したライティングソフトウェアで書き込んでください。

メディアの容量が足りない

新しいメディアに書き込んでください。

他社製のドライブで書き込んだメディアを使用している

他社製のドライブで書き込んだメディアには追記できません。本製品で書き込んだメディアを使用してください。

ディスクアットワンス方式で書き込んだメディアまたはセッションをクローズしたメディアを使用している

ディスクアットワンス方式、またはセッションをクローズして書き込みをしたときは、追記することはできません。別のメディアをお使いください。

作成した音楽CDで音飛びが発生する

メディアによっては、作成した音楽 CDで音飛びが発生することがあります。その場合は書き込み速度を下げて書き込みを行ってください。

書き込みができない

メディアが対応していない

・お使いのメディアが、指定した書き込み速度に対応していることをご確認ください。メディアによって最大書き込み速度は異なりますのでご注意ください。

・別紙「はじめにお読みください」に記載してある書き込み動作確認メディアをお使いください。記載していないメディアでは、本製品に対応していなことがあります。

メディアが傷ついたり汚れが付着している

メディアが傷ついたり、ほこりや汚れが付着している可能性があります。他のメディアでもう一度書き込んでみてください。

ライティングソフトウェアが本製品に対応していない

本製品に付属しているライティングソフトウェアを使用してください。付属品以外のライティングソフトウェアを使用するときは、ソフトウェアのメーカーに対応しているかどうかお問い合わせください。

USB/IEEE1394ケーブルが正しく接続されていない

本製品を含むUSB/IEEE1394機器にケーブルを正しく接続してください。

USB1.1インターフェースに接続している【CD-R/RWへの書き込みのみ】

USB1.1インターフェースに本製品を接続した場合、8倍速を超える速度では書き込みできません。8倍速を超える速度で書き込みを行った場合、お使いの環境や使用したメディアによっては書き込みに失敗することがあります。書き込みに失敗したときは、書き込み速度を8倍速以下に設定してください。

書き込みが遅い

1.1GBに満たないデータを書き込んでいる【DVD-R/RWへの書き込みのみ】

DVD-R/RWの規格上、一度に書き込むデータ容量は1.1GB以上になります。1.1GBに満たない容量を書き込む場合は、書き込む容量が1.1GBになるまでダミーデータが追加されるため、セッションクローズ(リードアウト)時間が長くなります。そのため、書き込むデータの容量が少なくても時間がかかる場合があります。

USB1.1インターフェースに接続している

USB1.1インターフェースに本製品を接続した場合、CD-R/RWでは8倍速、DVD-R/RWでは0.9倍速を超える速度では書き込みできません。

WindowsXPの書き込み機能を使用した【USB1.1インターフェースでお使いの方のみ】

USB1.1で接続したときは、WindowsXPの制限によりOSのCD-R/RW書き込み機能では、4倍速を超える速度で書き込むことはできません(USB2.0で接続したときは4倍速以上で書き込むことができます)。

音楽CDをキャプチャしたデータにノイズや音飛びが発生する

音楽CDに傷がある

音楽CDの傷が原因で音飛びが発生することがあります。

音楽CDを再生したCD-ROMドライブが対応していない

CD-ROMドライブによっては、正常に音楽CDをキャプチャできないものがあります。その場合は、本製品で音楽CDを再生してキャプチャしてください。

パケットライティングソフトで書き込みするとシステムが停止する

Windows98(Second Editionを除く)でユニバーサルシリアルバスコントローラに[NEC PCI to USB Host Controller]をお使いの場合、パケットライティングソフトで書き込みした際にシステムが停止することがあります。この場合は、マイクロソフト社のホームページ(http://windowsupdate.microsoft.com/)からWindows98 System updateをダウンロードし、パソコンにインストールしてください。

ユニバーサルシリアルバスコントローラの確認手順は次のとおりです。
①[マイコンピュータ]アイコンを右クリック→②［プロパティ(R)]をクリック→③［デバイスマネージャ]タブをクリック→④［ユニバーサルシリアルバスコントローラ]を確認

メディアにデータを書き込めない

ライティングソフトウェアを使用していない

本製品付属のライティングソフトウェアを使用してください。

DVD-ROM、CD-ROM、音楽CD(CD-DA)がセットされている

DVD-ROMやCD-ROM、音楽CD(CD-DA)などには書き込めません。

本製品の電源が入っていない

本製品に電源ケーブルが正しく接続されているか確認してください。

パケットライティングソフトが使用できない【WindowsXPをお使いの方のみ】

WindowsXPのCD-R/RW書き込み機能が有効に設定されている

WindowsXPのCD-R/RW書き込み機能を有効にした場合は、パケットライティングソフトは使用できません。[マイ コンピュータ]内DVD-Rドライブのプロパティの[書き込み]タブを選択した画面で、[このドライブでCD書き込みを有効にする]のチェックボックスをクリックしてチェックマークを外してください。

WindowsXPのCD-R/RW書き込み機能が使用できない

書き込み機能が無効に設定されている

[マイ コンピュータ]内DVD-Rドライブのプロパティの[書き込み]タブを選択した画面で、[このドライブでCD書き込みを有効にする]のチェックボックスをクリックしてチェックマークを表示させてください。

※WindowsXPのCD-R/RW書き込み機能を有効にした場合は、パケットライティングソフトは使用できなくなります。

メディアをバックアップ(コピー)できない

バックアップ元のメディアにプロテクトがかけてある

プロテクトのかけられているDVD-ROM、DVD-VIDEO、CD-ROM、音楽CDはバックアップ(コピー)することはできません。

容量が大きすぎるというメッセージが出てメディアに書き込みができない

メディアの容量が足りない

追記で使用していた場合、新しいメディアに書き込んでください。

メディアの容量よりも大きな容量のデータを書き込もうとしている

メディアの容量にあわせて、書き込むデータの容量を少なくしてください。

容量表示のしかたが異なる

DVDメディアの容量を4.7GBと表現する場合、一般的に1GB = 1,000,000,000バイトの意味になります。
一方、Windowsのエクスプローラなどのソフトウェアでファイルサイズやディスク容量を表示する場合は、
1GB = 1,024×1,024×1,024 = 1,073,741,824バイト の意味になります。
したがって、DVDメディアの4.7GBに収まるデータ容量をWindowsのエクスプローラの表示方法で表すと、
4.7/1.073741824=4.377GBとなります。
Windowsでの容量表示と、一般的に表記されているメディア容量のサイズは異なりますのでご注意ください。